

第5学年 体育科学習指導案

本時の主張

サッカーで、ドリブル禁止のゲームを行ったり、チャート図を活用したりすることにより、「ボールを持った時」「ボールを持たない時」の状況判断ができるようになる。

1 単元名

ボール運動「トラップ&キックでゴールをめざせ!～サッカー～」

2 単元の目標

- ボールをもらえるスペースに動いたり、正確にボール操作をしたりして、得点につなげ
【運動の技能】
- ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームができる。
【運動への関心・意欲・態度】
- 自分のチームの特徴を生かした簡単な作戦を立てることができる。
【運動についての思考・判断】

3 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
ルールやマナーを守り、チームで教え合い、励まし合いながら協力してサッカーを楽しもうとしている。	自分のチームの特徴を生かして作戦を立てたり、状況に応じた動きを考えながら活動している。	ボールをもらえるスペースに動いたり、パス・シュートを適切に判断したりして、得点に結び付けている。

4 単元について

(1) 一般的運動特性

サッカーは、一定の時間内に、パスやドリブルを使いながら、ゴールに向かってシュートをし、得点を競って勝敗を楽しむ運動である。

(2) 子どもから見た運動特性

- ・パスをつないだり、シュートをして得点を決めたり、仲間と協力して試合に勝ったりすると楽しい運動である。
- ・足でボールを扱うことが難しく、周りの状況を把握しにくい。パスが繋がらないとおもしろくないと感ずることがある。

5 単元と児童の実態

体育に取り組む学習意欲は高い。休み時間には、ほとんどの児童が体育館やグラウンドで運動遊びをしている。しかし、主にボール運動を好んで行う児童と鬼遊びを好んで行う児童に分かれている。足でのボール操作の技能がある程度身に付いている児童と身に付いていない児童の能力差が大きい。

また、サッカーに関するアンケートからは、サッカーが嫌いな児童が半数程度いる。そのうち2/3程度は「ボールが上手な人ばかりに回る」、数名が「ボールが速くて怖い」と答えていた。

サッカーは、足を使ってボールを操作するという技能を必要とするとともに、「ゴールを狙えるのか?」「パスをもらえるのか?」などの状況判断を適切に行うことも必要である。嫌いな児童は、「ボール操作が上手にできない」「どこに動いたらパスをもらえるのか分からない」などの理由からゲームに積極的に参加できないと考えられる。ボール操作およびスペースに動くなどの技能を高め、適切に状況判断ができるようになれば、苦手意識や恐怖心を取り除き、積極的にゲーム参加できるのではないかと考えた。

そこで、本授業では、必要とするボール操作の技能を減らし、状況判断もしやすくなるようにする。そして、次の二つの技能を確実に身に付けさせたい。

① 自分が操作しやすい場所にトラップし、ゴールにつながるパスやシュートができる。
(ボール操作)

② ボールを持たない時に、ゴールにつながるようにボールをもらえる位置に動くことができる。(ボールを持たない時の動き)

そのために、ドリブル禁止のメインゲームを設定し、必要とする技能をトラップとキック(パス・シュート)に限定する。また、パスが中心のゲームとなるため、ボールを持たない時の動きを促すとともに、仲間と協力しながら行うサッカーの楽しさを感じられるようにしていきたい。

6 指導の構想

(1) ドリブル禁止のメインゲームの設定

ドリブル禁止のメインゲームを設定することにより、必要とする技能を限定し、ボールを持たない時の動きを促したい。 ※別紙資料①

(2) 「止める(トラップ)」・「蹴る(パス・シュート)」に重点を置いたボール操作の指導

メインゲームに必要な「止める(トラップ)」・「蹴る(パス・シュート)」に重点を置いたボール操作の指導をドリルゲームやタスクゲームで行う。 ※別紙資料①

(3) チャート図の活用による状況に応じた動きの指導

チャート図を活用し、「ボールを持った時」「ボールを持たない時」の状況判断ができるようにする。 ※別紙資料②

(4) チーム作り

サッカーの技能や経験を考慮して、児童と教師で話し合っってチーム作りを行う。1チーム5人×6チームの少人数にして、チーム内の話し合いが円滑に進むようにする。また、チーム5人のうち3人がプレーヤーとなり、残りの2人はコート外から状況判断の声かけをできるようにする。

(5) 教具の工夫

空気を少し抜いたボールを使う。足でのボール操作に慣れていない児童も扱いやすいようにする。

7 指導計画(全6時間)

時	学習のねらい(○)と主な活動内容(・)	留意点	評価			
			関	思	技	評価規準
1	課題：トラップ、キックの技術を身に付けよう。					
2	○ みんなでサッカーを楽しむ態度をもち、トラップやキックの技術を身に付ける。 ・ みんながサッカーを楽しむために必要なことを話し合う。(1時のみ)	事前アンケート結果を提示する。	○			みんなが楽しめるように話し合っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルゲーム ・ボールタッチ ・パス&ラン ・タスクゲーム ・ボールキープゲーム ・ふり返り 	<p>基本的なトラップ、キックの仕方について指導する。</p>		○	<p>基本的なトラップ、キックができる。</p>
<p>3 ・ 4 (本時)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題：ゴールを決めるためには「ボールを持った時」「ボールを持たない時」にどうすればよいか考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゴールにつながるような「ボールを持った時」「ボールを持たない時」の状況判断と動きを理解し、ゲームの中でできるようにする。 ・ドリルゲーム ・パス&ラン ・タスクゲーム ・ゴールゲーム ・メインゲーム ・ふり返り 	<p>チャート図を活用し、状況判断や動きを指導する。</p> <p>実際のゲームの場面で、よい判断や動きを考えさせる。</p>		○	<p>ゴールにつながるような状況判断と動きを考えながら活動している。</p>
<p>5 ・ 6</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題：ゲームの中で、ゴールにつながる判断や動きをしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームの中で、ゴールにつながる判断や動きをすることができる。 ・ドリルゲーム ・パス&ラン ・メインゲーム① ・ふり返り・練習 ・メインゲーム② ・ふり返り 	<p>実際のゲーム中に、よい判断や動きを指導する。</p> <p>単元の学習を通しての成長について話し合う。</p>		○	<p>仲間に声をかけながら練習やゲームをしている。</p> <p>○ ゲームの中で、ゴールにつながる判断や動きをすることができる。</p>

8 本時の学習（4／6時間目）

（1）本時のねらい

ゴールにつながるような「ボールを持たない時」の動きを理解することができる。

（2）本時の構想

1・2時では、みんながサッカーを楽しむために必要なことについて考えさせるとともに、トラップとキックのボール操作技能の習得に重点を置く。また、3時では、ゴールにつながるような「ボールを持った時」の動きと状況判断について理解できるようにする。

そして、本時では、「ボールを持った時」の状況判断と関連させながら、「ボールを持たない時」の動きと状況判断について理解できるようにする。そのために、以下の手立てを講じる。

① 全員に共通した学習課題の設定

児童全員に、「ゴールにつながるようなボールを持たない時の動き」について考えさせる。前時の学習の振り返りを共有することにより、共通の課題を設定する。共通の課題を設定することで教え合う学習態度を促し、学習課題に即した声を掛け合うことができるようにする。

② チャート図の活用

「ゴールにつながるようなボールを持たない時の動き」についてチャート図で示す。選択式で示すことにより、状況に合わせた判断や動きを理解しやすくなるようにする。

また、チャート図を参考にしながら、授業の終末にチームで「ゴールにつながるようなボールを持たない時の動きができていたか」について話し合うことで本時の課題について自己評価できるようにする。

（3）本時の展開と評価

	学習内容・活動	主な教師の働き掛けと児童の反応	指導上の留意点と評価
0	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボール操作（トラップとキック）の技能を高める。 ・パス&ラン 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 回数が増えるようにドリルゲームをしましょう。今まで学習したコツを生かしてやりましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうすれば回数を増やせるかな。」 ・「しっかりトラップしてから正確にパスするぞ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作しやすい場所にトラップをすることなど、前時までの学習でのコツを意識させる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の課題を確認する。 ○ ボールを持たない時の動きを理解する。 ・ゴールゲーム 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ゴールを決めるためには、ボールを持っていない時はどのように動けばよいでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボールを持った時、パスを出したくても出せない時があったな。」 ・「ボールを持っていない時は、パスをもらえる場所に動けばいいんだな。」 ・「相手とゴールの位置も意識しないといけないな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをもとにして、本時の課題を確認する。 ・チャート図を使って、複数の状況と動きがあることを理解させる。 ・ゴールゲームのやり方を確認しながら、ボールを持たない時の動きを具体的にイメージできるようにする。

20	<p>○ ボールを持たない時の動きを意識しながら、メインゲームを行う。</p> <p>・ トリオサッカー (3分ハーフ×3試合×2面)</p>	<p>・「パスは受けられるけど、得点につながるかな。」</p>	
		<p>ゴールにつながるように、ボールを持っていない時も動きながらゲームをしましょう。</p>	<p>・ボールを持たない時の動きを中心に、声を掛け合うように促す。</p>
		<p>・「次々にボールが動くから難しいぞ。」</p> <p>・「広いコートだと難しいな。」</p> <p>・「相手とゴールを意識すればいいんだな。」</p>	<p>・ボールを持たない時の動きについて声掛けをしていく。</p>
40	<p>○ チームごとに振り返る。</p>	<p>チームで、「ボールを持たない時の動き」について振り返りましょう。チームのみんなができていたかな。どうすればよかったかな。チームで話し合ったら、個人の振り返りを書きましょう。</p>	<p>【評価】 得点につながらようなボールを持たない時の動きを理解できたか。 (発言、学習カード、ゲームでの動き)</p>
45		<p>・「パスをもらえる位置を考えながら動けた。」</p> <p>・「パスがつながるようになった。」</p> <p>・「広いコートの中だと、どこに動いたらいいか分からなくなるな。」</p> <p>・「周りから声をかけてもらえてよかった。」</p>	<p>・勝敗にこだわらずに、自分のたちの攻撃面での動きから振り返ることができるようにする。</p>